

上田地域の課題

地域の特長

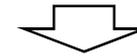
- ・高速道路、新幹線等の高速交通網の整備が進んでおり、首都圏とのアクセスがよい
- ・標高や少雨多照の気象条件を巧みに活かし、全国的に評価の高い高原野菜やぶどうなどを生産
- ・良質なワインの生産地として国内外から高い評価
- ・信州大学繊維学部や県テクノ財団浅間テクノポリス地域センター、浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)等が存在し、産学官連携の取組を推進
- ・温泉・高原・名所旧跡・食材等の地域資源が豊富
- ・大河ドラマ「真田丸」の放映により、観光客数が増加し、上田の知名度が向上

地域の課題

- ・生活習慣病による死亡率が高い一方、特定検診受診率が県平均より低いことから、健康意識の醸成と健康づくりの実践が必要
（特定検診受診率H25:38.5%、全県:46.1%
脳卒中死亡率 県下11保健所別順位: 男性1位、女性4位）
- ・誰もが安心して質の高い医療・介護サービスを受けるための地域包括ケア体制の強化が必要
- ・農業産出額は162億円(2014年)で、ピーク比(1985年)は56.8%
- ・平成27年の観光地利用者数は6,997千人、観光消費額は154億9,400万円で、平成3年ピーク比は、それぞれ96.1%、60.0%
- ・慢性的な交通混雑区間の解消と、松本・佐久など地域外との円滑な交流を図るため、道路網の整備促進が必要

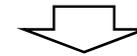
H29年度「横断的な課題」

温泉・高原・名所旧跡・食材等の地域資源を活用し、「ヘルス」をキーワードにした「観光地域づくり」と「健康増進」を推進



「地域資源(温泉・食材等) × 健康増進」による地域振興

評価の高い地域産品(安全・安心で新鮮な農産物、良質なワイン等)の生産振興や消費拡大等を図ることで、自立型経済循環システムの構築と販売額増による地域振興を推進



信州上田地消地産推進プロジェクト